

# 平成31年度当初予算（案）

## 付 属 資 料

県 土 整 備 局

（問合せ先）

事業管理部 県土整備経理課長 武川

電話 045-210-6070



# 目 次

ページ

〔資料 1〕	地震防災対策の推進	1
〔資料 2〕	ゲリラ豪雨などによる自然災害に対する未然防止対策の推進	2
〔資料 3〕	河川改修事業 一級河川 矢上川〔矢上川地下調節池〕	3
〔資料 4〕	河川改修事業 二級河川 引地川〔下土棚遊水地〕	5
〔資料 5〕	都市河川重点整備計画(新セイフティリバー)の推進	7
〔資料 6〕	砂防事業 新崎川	9
〔資料 7〕	急傾斜地崩壊対策事業 長瀬2丁目B地区	11
〔資料 8〕	緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化促進	13
〔資料 9〕	道路災害防除事業 国道135号	14
〔資料 10〕	橋りょう補修事業 県道78号(御殿場大井)〔足柄大橋〕	16
〔資料 11〕	都市公園整備事業 境川遊水地公園(今田遊水地)	18
〔資料 12〕	山・川・海の連続性をとらえた「川づくり・なぎさづくり」	20
〔資料 13〕	「かながわのみちづくり計画」に基づく幹線道路網の重点整備	21
〔資料 14〕	道路改良事業 県道26号(横須賀三崎)〔三浦縦貫道路Ⅱ期〕	23
〔資料 15〕	道路改良事業 県道731号(矢倉沢仙石原)〔南足柄市と箱根町を連絡する道路〕	25
〔資料 16〕	街路整備事業 都市計画道路 横浜藤沢線	27
〔資料 17〕	交通安全施設等整備事業 国道134号〔道の駅「(仮称)サザン茅ヶ崎」〕	29
〔資料 18〕	流域下水道事業 相模川流域下水道	31
〔資料 19〕	流域下水道事業 酒匂川流域下水道	33
〔資料 20〕	市街地再開発事業 小杉町3丁目東地区	35
〔資料 21〕	公営住宅整備事業 県営横山団地(5期)	37
〔資料 22〕	東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技開催に向けた取組み	39
〔資料 23〕	法人二税の超過課税を活用して推進する施策	40
〔資料 24〕	平成31年度 主な完成・開所予定・着手箇所	41

## 地震防災対策の推進

## 1 目的

東日本大震災などを踏まえ、県民のいのちを守り、安全・安心の確保を図るため、地震や津波への対策を進める。

## 2 予算額 36,796,709 千円

## 3 事業内容

項 目	主 な 事 業 内 容
<b>計画的な土地利用と市街地整備の推進</b>	<b>3,315,248 千円</b>
市街地の整備	○建築物が密集し、防災性の低い地域を市街地再開発事業等により整備
<b>防災空間の確保</b>	<b>4,540,545 千円</b>
都市公園の整備	○災害時に防災拠点となる都市公園の整備
街路の整備	○災害時における火災の延焼遮断帯や避難路となる都市計画道路の整備
<b>道路橋りょう、港湾等の安全対策</b>	<b>17,139,263 千円</b>
道路の整備	○大規模地震などの発災時における各種応急対策活動を迅速かつ円滑に行うための緊急輸送道路の整備
橋りょうの整備	○橋りょうの新設、架替、既存橋りょうの耐震補強工事
港湾の整備	○緊急物資や避難者の輸送の拠点となる港湾の防災機能の充実のため、物揚場などの整備
<b>津波高潮対策</b>	<b>1,074,090 千円</b>
河川海岸の整備	○相模湾沿岸の海岸の養浜等
地籍調査の促進	○津波による浸水が想定される相模湾沿岸市町の都市部での地籍調査の促進
<b>がけ崩れ対策等の推進</b>	<b>7,309,541 千円</b>
がけ崩れ等の土砂災害の防止	○急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域、砂防指定地での災害防止工事、土砂災害特別警戒区域指定に向けた調査
<b>ライフラインの安全対策</b>	<b>939,951 千円</b>
電線類の地中化	○電線類を地中化することにより、安全性の一層の向上を図るため、電線共同溝の整備
流域下水道の耐震化	○下水処理場の水処理施設等の耐震補強
<b>建築物等の安全確保対策</b>	<b>1,838,746 千円</b>
大規模建築物の耐震化	○耐震改修促進法で耐震診断が義務付けられた大規模建築物の耐震改修に対する補助
沿道建築物の耐震化	○緊急輸送道路で県や市町村が耐震診断を義務付ける路線等の沿道建築物の耐震診断、耐震改修に対する補助
宅地の耐震化	○大地震発生時に滑動崩落のおそれのある大規模盛土造成地の安全性の向上を促進するため、調査を推進
<b>災害時の情報収集・提供体制の拡充</b>	<b>438,579 千円</b>
水防情報基盤の整備	○水位観測施設等の整備・更新
<b>その他</b>	<b>200,746 千円</b>
被災地・被災者の支援	○東日本大震災の被災者に対して、災害救助法に基づく応急仮設住宅を引き続き提供

問合せ先

県土整備経理課 課長 武川 電話 045-210-6070

## ゲリラ豪雨などによる自然災害に対する未然防止対策の推進

## 1 目的

ゲリラ豪雨や台風等による災害の未然防止を図るため、護岸や遊水地の整備や土砂災害防止施設の整備等を推進する。

2 予算額 16,204,667千円

## 3 事業内容

項名	主な事業内容
浸水被害対策の推進	8,895,126千円
河川の整備と防災情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 浸水被害を防止するため護岸や遊水地等を整備 ・引地川他</li> <li>○ 流下能力を最大限に発揮するため、樹木の伐採や堆積土砂の除去などを実施 ・永池川他</li> <li>○ 河川防災情報を充実させるため、水位観測施設等の整備・更新 ・中堀川他</li> </ul>
がけ崩れ対策等の推進	7,309,541千円
急傾斜地崩壊危険区域等の災害防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 土石流による災害を防止するため、砂防堰堤工等の実施 ・新崎川他</li> <li>○ 地すべりによる災害を防止するため、アンカー工等の実施 ・早雲山他</li> <li>○ がけ崩れによる災害を防止するため、法面工等の実施 ・長瀬2丁目B地区他</li> <li>○ 急傾斜地に係る土砂災害特別警戒区域の指定に向けた調査</li> </ul>

問合せ先

河川課 課長 鶴木 電話 045-210-6470  
砂防海岸課 課長 峯村 電話 045-210-6500

## 河 川 改 修 事 業

区 分	一級河川 矢上川〔矢上川地下調節池〕
事業概要	<p>矢上川は、川崎市宮前区菅生地先にその源を發し、川崎市の西部を南下して鶴見川に合流する一級河川です。</p> <p>矢上川の流域は、市街化が著しく、沿川に人家が密集していることなどから、河道整備が困難なため、矢上川及び道路の地下を有効活用したトンネル式の地下調節池の整備を進めています。</p> <p>平成 31 年度は、引き続き發進立坑工事等を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 川崎市宮前区梶ヶ谷他</p> <p>(2) 事業概要</p> <p>トンネル延長 約 4 km</p> <p>トンネル径 内径 7.9m (外径 8.5m)</p> <p>貯留量 約 19.4 万 m<sup>3</sup></p>
全体事業費	約 350 億円
平成 31 年度 事業内容	立坑工他
事業期間	平成 21 年度～平成 37 年度

事業名	河川改修事業
河川名	一級河川 矢上川〔矢上川地下調節池〕
事業箇所	川崎市宮前区梶ヶ谷他

位置図

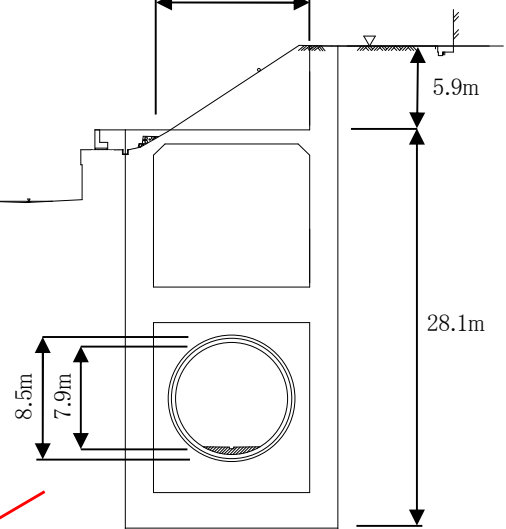


事業箇所

標準横断面図

発進立坑本体工

内空寸法 □11.0m×14.0m



矢上川地下調節池平面図



問合せ先  
河川課 課長 鶴木 電話 045-210-6470

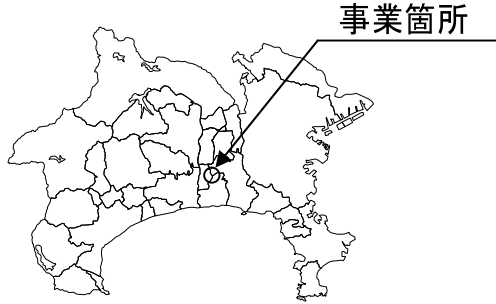
## 河 川 改 修 事 業

区 分	二級河川 引地川〔下土棚遊水地〕
事業概要	<p>引地川は、大和市上草柳付近にその源を發し、綾瀬市を流れる蓼川と合流し、藤沢市を流下して相模湾に注ぐ二級河川です。</p> <p>引地川の流域では、近年も浸水被害が発生しており、沿川に人家が密集している区間が多いことから、川幅を拡幅する護岸整備とあわせて、洪水時の流量を調節する遊水地の整備を進めています。</p> <p>平成5年度には大庭遊水地の供用を開始し、平成18年度からは、その上流で下土棚遊水地の整備に着手しました。</p> <p>平成31年度は、引き続き遊水地工等を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 藤沢市下土棚他</p> <p>(2) 事業概要</p> <p>事業面積 約14ha</p> <p>貯留量 約46万m<sup>3</sup></p>
全体事業費	約250億円
平成31年度事業内容	遊水地工、護岸工他
事業期間	平成18年度～平成32年度

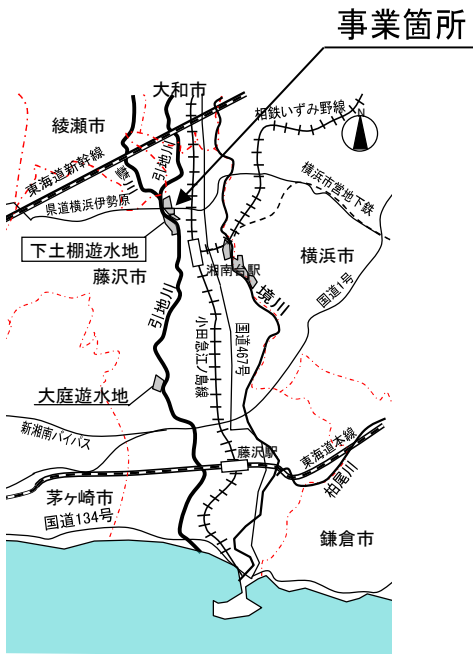
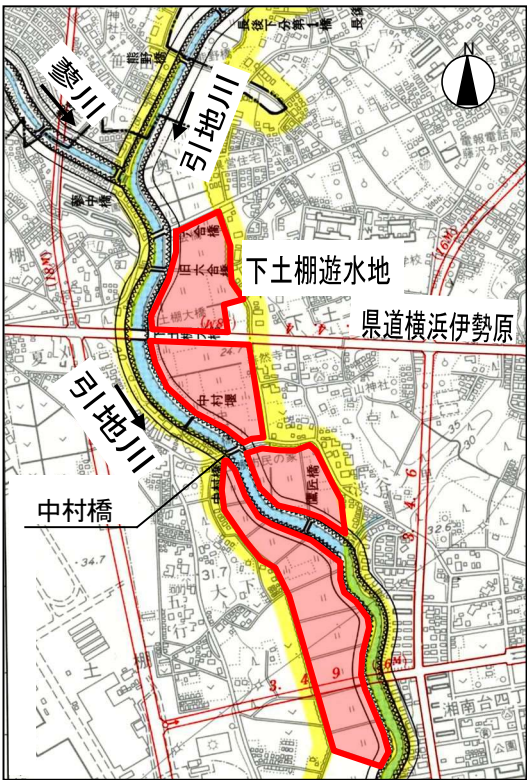


事業名	河川改修事業
河川名	二級河川 引地川〔下土棚遊水地〕
事業箇所	藤沢市下土棚他

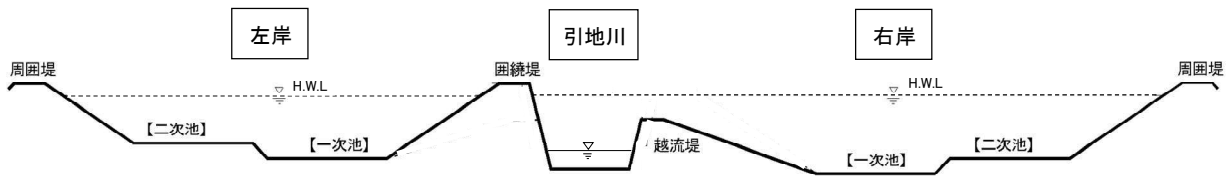
位置図



下土棚遊水地平面図



標準横断面図



問合せ先  
河川課 課長 鶴木 電話 045-210-6470

## 都市河川重点整備計画（新セイフティリバー）の推進

### 1 目的

近年、都市化の進展により流域の保水・遊水機能が減少していることや、局地的、突発的に短時間で多量の雨が降る、いわゆるゲリラ豪雨が頻発していることから、治水対策の重要性がますます高まっています。

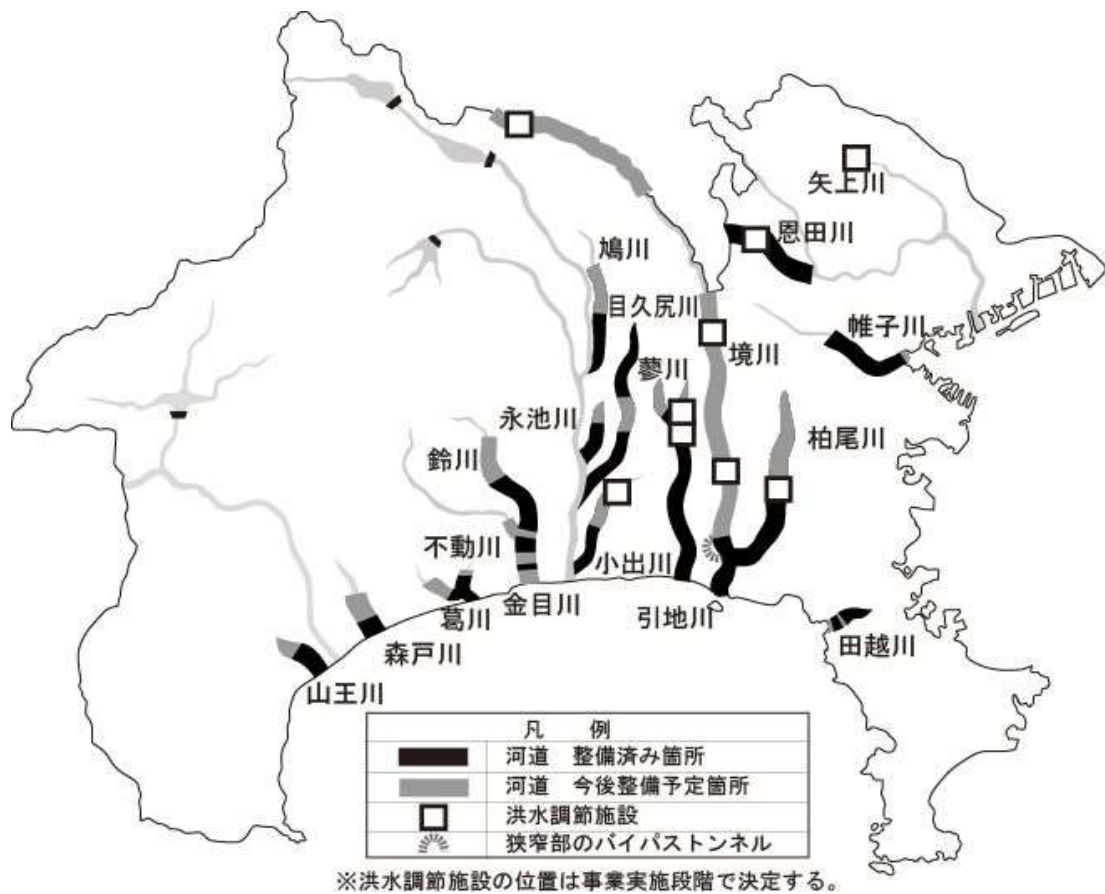
こうした中、県では、厳しい財政状況のもとで、より効率的、効果的な河川整備を進めるため、県内の中小河川のうち、過去の大雨で水害が発生した河川や都市化の進展が著しい地域を流れる 18 河川について、「都市河川重点整備計画（新セイフティリバー）」に位置づけ、重点的に整備を進めます。

2 平成 31 年度当初予算額 4,681,248 千円

### 3 平成 31 年度事業内容

河川名	主な事業箇所	主な内容
矢上川	川崎市宮前区梶ヶ谷他	立坑工、計画検討委託、調査委託
恩田川	横浜市緑区小山町他	護岸設計委託、調査委託
帷子川	横浜市保土ヶ谷区川辺町他	地盤改良工、河床掘削工、護岸設計委託
田越川	逗子市逗子二丁目他	護岸設計委託、計画検討委託
境川	大和市深見他	護岸工、遊水地工、用地取得、計画検討委託
柏尾川	横浜市栄区金井町	用地取得
引地川	藤沢市下土棚他	遊水地工、橋りょう工、護岸工、施設設計委託
蓼川	藤沢市下土棚他	橋りょう工、護岸工、調査委託
小出川	茅ヶ崎市行谷他	施設設計委託、調査委託
目久尻川	座間市栗原他	計画検討委託
永池川	海老名市杉久保他	河床掘削工、調査委託、護岸設計委託
鳩川	相模原市南区磯部他	護岸工、計画検討委託
金目川	平塚市上平塚他	護岸工、河床掘削工、計画検討委託
鈴川	平塚市上平塚他	計画検討委託
葛川	二宮町二宮他	調査委託、計画検討委託
不動川	大磯町生沢	護岸工、河床掘削工
森戸川	小田原市国府津	用地取得
山王川	小田原市扇町三丁目他	護岸工、河床掘削工

# 都市河川重点整備計画(新セーフティリバー)の概要



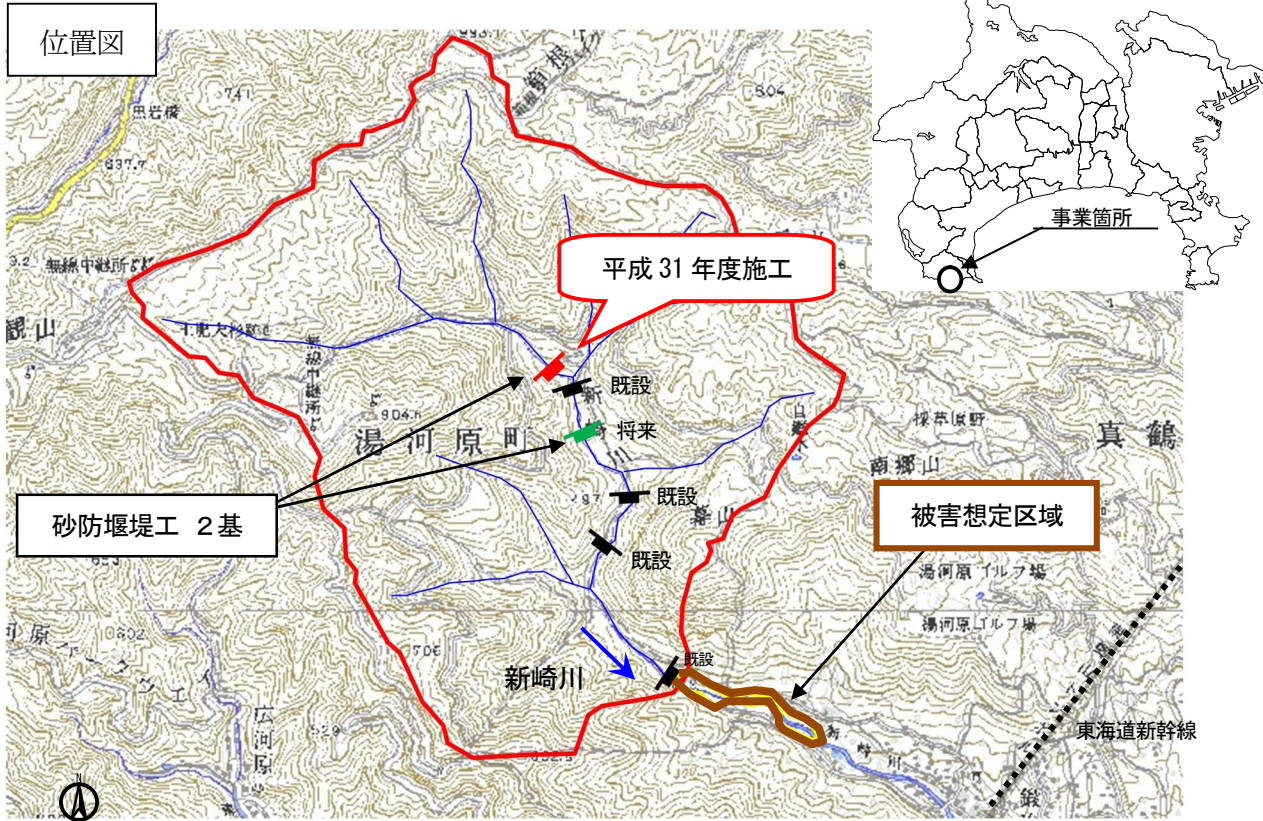
河川名	整備概要 (概ね30年間)	河川名	整備概要 (概ね30年間)
矢上川	洪水調節施設 1箇所	小出川	洪水調節施設 1箇所 河道整備 約2.9km
恩田川	洪水調節施設 1箇所		
帷子川	河道整備 約0.1km	目久尻川	河道整備 約0.3km
田越川	河道整備 約1.0km	永池川	河道整備 約1.6km
境川	洪水調節施設 3箇所 狭窄部のバイパストンネル 河道整備 約31.7km	鳩川	河道整備 約4.4km
		金目川	河道整備 約2.6km
柏尾川	洪水調節施設 数箇所 河道整備 約3.8km	鈴川	河道整備 約3.1km
		葛川	河道整備 約2.0km
引地川	洪水調節施設 2箇所 河道整備 約3.0km	不動川	河道整備 約0.2km
		森戸川	河道整備 約1.1km
蓼川	河道整備 約3.5km	山王川	河道整備 約1.7km
18河川	河道整備 16河川 約63.0km 洪水調節施設 6河川 狭窄部のバイパストンネル 1河川		

問合せ先  
河川課 課長 鶴木 電話 045-210-6470

## 砂 防 事 業

区 分	新崎川
事業概要	<p>新崎川は、足柄下郡湯河原町吉浜に位置する、流域面積9.78km<sup>2</sup>の溪流です。</p> <p>当該溪流は急勾配であることに加え、溪流内に大量に堆積する土砂の中に巨石が多いことから、土石流が発生しやすく、その被害は甚大なものになると予想されます。下流の被害想定区域内には人家、町道、幕山公園、幕山浄水場などの重要なインフラ施設が存在していることから、土砂災害を未然に防止するため、砂防堰堤工による対策を実施します。</p> <p>平成31年度は、砂防堰堤工を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 足柄下郡湯河原町吉浜  (2) 事業内容 砂防堰堤工 2基</p>
全体事業費	約10億円
平成31年度事業内容	砂防堰堤工 1基
事業期間	平成21年度～平成41年度

事業名	砂防事業
路線名	新崎川
事業箇所	足柄下郡湯河原町吉浜



溪流荒廃状況



保全対象



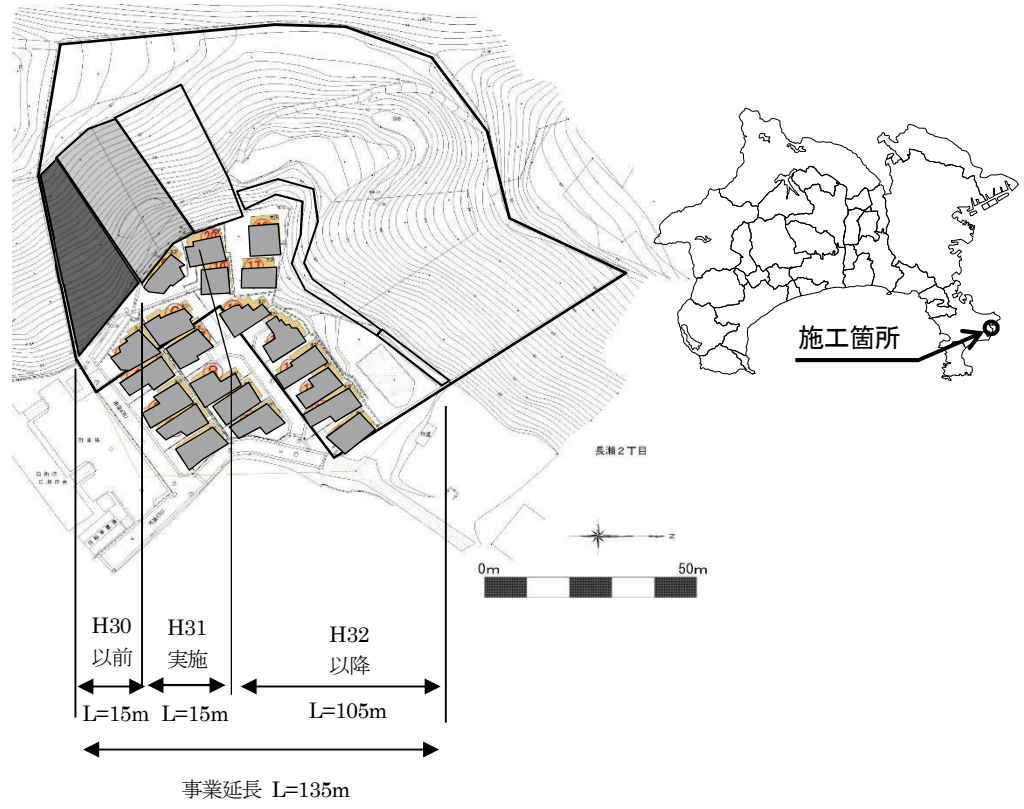
問合せ先  
 砂防海岸課 課長 峯村 電話 045-210-6500

## 急傾斜地崩壊対策事業

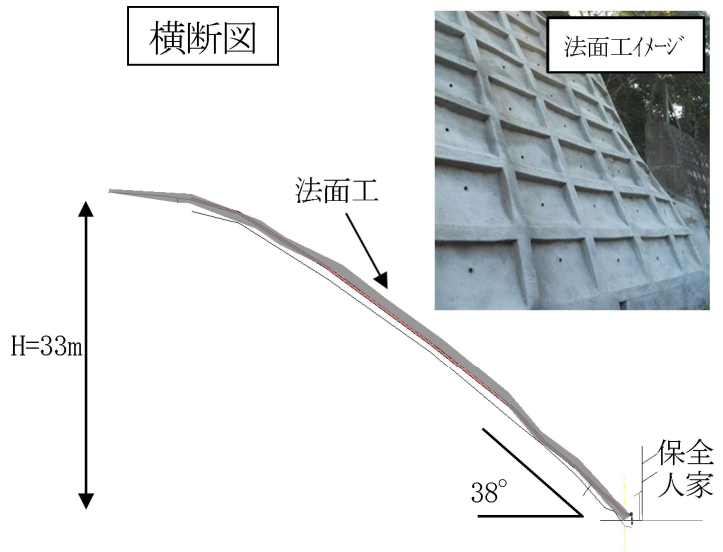
区分	ながせ 長瀬2丁目B地区
事業概要	<p>長瀬2丁目B地区の急傾斜地崩壊危険区域は、横須賀市の東部に位置し、斜面の高さは約33m、勾配は約38度です。区域内には人家が多数立地しています。がけ崩れ災害から人命を守るため、急傾斜地崩壊防止施設を整備しています。平成31年度は、法面工を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 横須賀市長瀬二丁目地内 (2) 事業延長 135.0m</p>
全体事業費	約2億円
平成31年度 事業内容	法面工
事業期間	平成28年度～平成34年度

事業名	急傾斜地崩壊対策事業
区域名	長瀬2丁目B地区
事業箇所	横須賀市長瀬二丁目地内

位置図



横断面図



問合せ先  
砂防海岸課 課長 峯村 電話 045-210-6500





## 緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化促進

### 1 目的

大規模地震による甚大な人的・物的被害が懸念されるなか、県地域防災計画に位置付けた緊急輸送道路が震災時においてもその機能を確保できるよう、通行障害を引き起こす恐れのある沿道建築物の耐震化を促進する。

広域ネットワーク路線



### 2 予算額

1 2 4, 3 6 2 千円

### 3 事業内容

緊急輸送道路のうち、第1次緊急輸送道路(約1,500km)について、耐震診断を義務化する路線とその他の路線に分け、それぞれの沿道建築物の耐震診断・耐震改修に対し補助する。

#### (1) 沿道建築物耐震化補助事業費

2, 4 7 7 千円

##### ア 対象

県域を越えた広域ネットワークを形成する路線のうち、政令市以外の市町村で県が耐震診断を義務付ける沿道建築物について、建物所有者が行う耐震診断・耐震改修に対し補助する。

##### イ 補助率

- 耐震診断 国 1/2、県 1/2、所有者負担なし
- 耐震改修 国 1/5、県 1/6、所有者 19/30

#### (2) 沿道建築物耐震化支援事業費

1 2 1, 8 8 5 千円

##### ア 対象

県が耐震診断を義務化する区間を除く第1次緊急輸送道路の沿道建築物について、市町村と連携して建物所有者が行う耐震診断・耐震改修に対し補助する。

##### イ 補助率

(ア) 広域ネットワークを形成する路線で、政令市が耐震診断を義務付ける沿道建築物

- 耐震診断 国 1/2、県 1/6、政令市 1/3、所有者負担なし
- 耐震改修 国 2/5、県 1/9、政令市+所有者 22/45

(イ) その他の路線の沿道建築物 < >内は政令市の場合

- 耐震診断 国 1/3、県 1/6 <1/9>、市町村+所有者 1/2 <5/9>
- 耐震改修 国 1/3、県 1/6 <1/9>、市町村+所有者 1/2 <5/9>

問合せ先

建築安全課 課長 依田 電話 045-210-6250

## 道 路 災 害 防 除 事 業

区 分	国道 135 号
事 業 概 要	<p>国道 135 号は、小田原市から静岡県下田市までの沿岸市町を連絡し、地域住民の生活や経済活動を支えるだけでなく、災害時には、緊急輸送道路として機能する重要な道路です。</p> <p>しかし、この道路は、海岸沿いを通っていることから、高波の被害を受けやすいという課題があります。</p> <p>このため、道路面の高さが低く、過去に被害を受けた地区において、道路嵩上工等を実施し、道路の安全性の向上を図るものです。</p> <p>平成 31 年度は、引き続き道路嵩上工を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 小田原市米神  (2) 事業延長 650.0m  (3) 幅 員 8.0m</p>
全体事業費	約 17 億円
平成 31 年度 事 業 内 容	道路嵩上工
事 業 期 間	平成 21 年度～平成 33 年度

事業名	道路災害防除事業
路線名	国道135号
事業箇所	小田原市米神

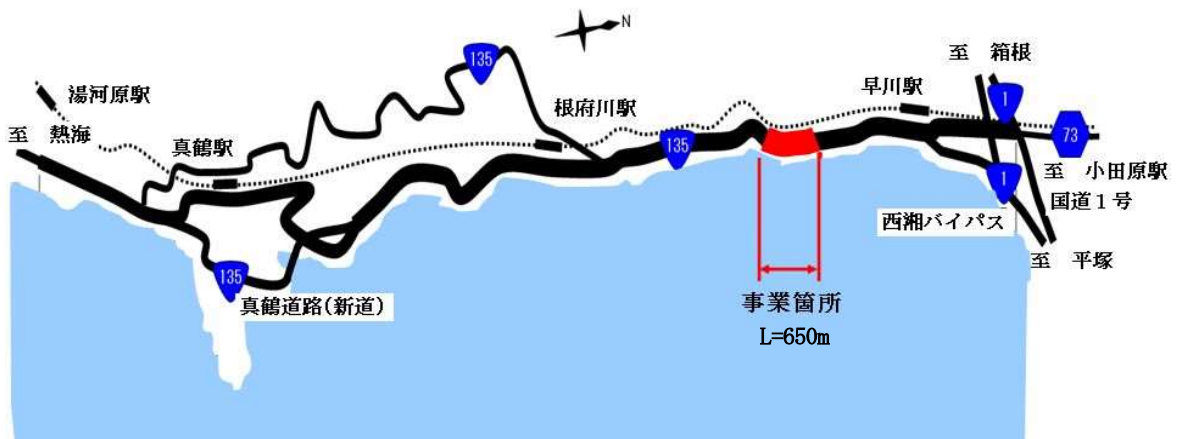
位置図



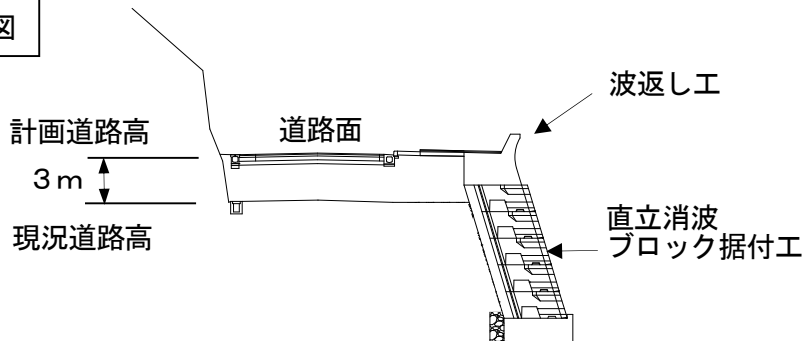
平成19年台風9号による越波被災状況



平面図



標準断面図



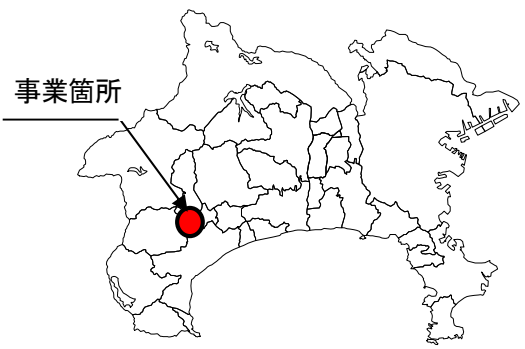
問合せ先  
道路管理課 課長 西山 電話 045-210-6350

## 橋 り よ う 補 修 事 業

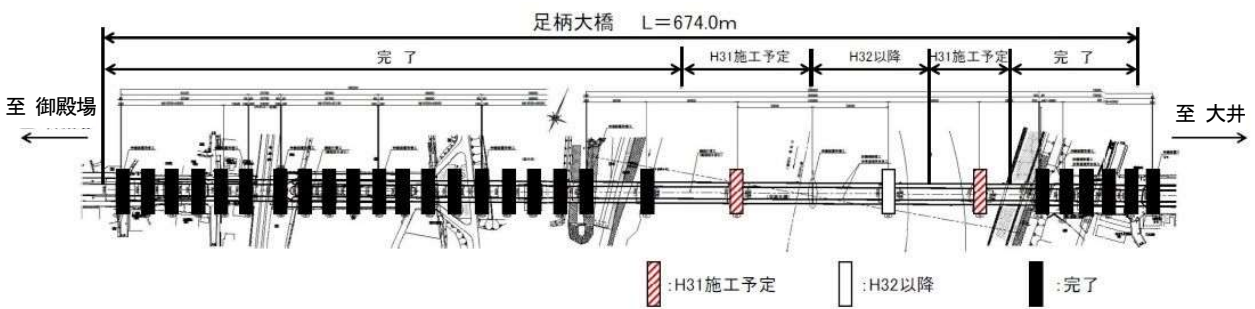
区 分	県道 78 号（御殿場大井）〔足柄大橋〕
事業概要	<p>県道 78 号（御殿場大井）は、南足柄市矢倉沢の県境を起点とし、大井町金子に至る主要幹線道路で、災害時の緊急輸送道路（1 次路線）に指定されています。</p> <p>本事業は、二級河川酒匂川を渡河する足柄大橋について、橋脚の耐震補強工事を実施し、地震被害の未然防止を図るものです。</p> <p>平成 31 年度は、引き続き橋脚の耐震補強工事を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 開成町吉田島～大井町金手  (2) 事業延長 674.0m  (3) 幅 員 14.4m</p>
全体事業費	約 13 億円
平成 31 年度 事業内容	耐震補強工
事業期間	平成 24 年度～平成 33 年度

事業名	橋りょう補修事業
路線名	県道78号(御殿場大井) [足柄大橋]
事業箇所	開成町吉田島～大井町金手

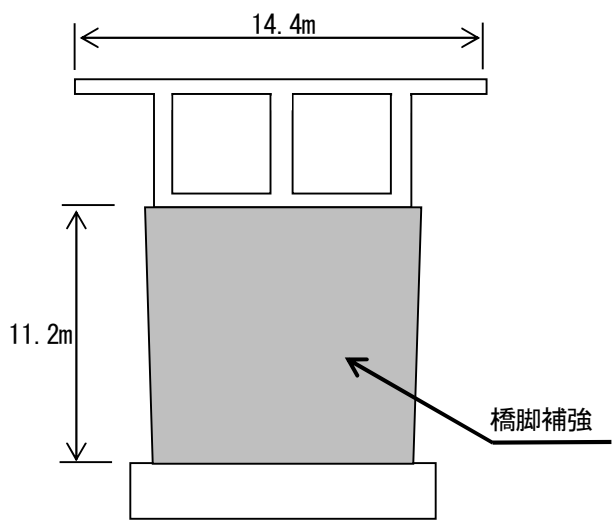
位置図



平面図



断面図



問合せ先  
 道路管理課 課長 西山 電話 045-210-6350

## 都 市 公 園 整 備 事 業

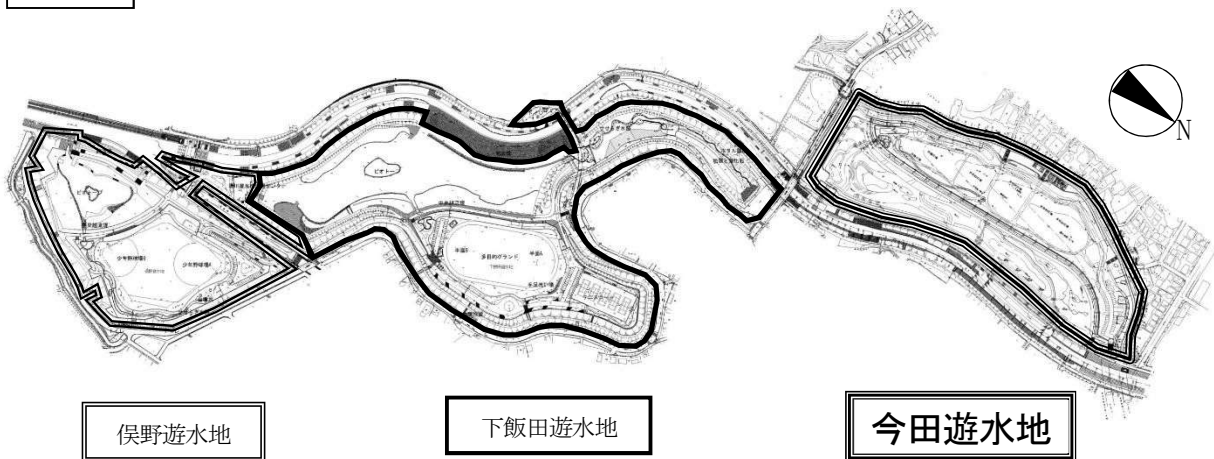
区 分	境川遊水地公園（今田遊水地）
事業概要	<p>境川遊水地公園は、横浜市と藤沢市の市境に位置する境川遊水地の上部空間を有効利用した公園です。平常時は、多目的広場、運動施設、ビオトープとして利用し、洪水時には、川の水を一時的に貯留し、被害を軽減します。</p> <p>平成 31 年度は、引き続き今田遊水地の園路広場の整備を行い、平成 31 年 11 月の開園を目指します。</p> <p>この開園により境川遊水地公園の全体（俣野遊水地、下飯田遊水地及び今田遊水地の 3 池）、約 26.2 ha が完成します。</p> <p>(1) 事業箇所 藤沢市今田  (2) 計画面積 約 7.3ha（今田遊水地）</p>
全体事業費	約 5 億円（今田遊水地）
平成 31 年度 事業内容	園路広場整備工他
事業期間	平成 27 年度 ～ 平成 31 年度

事業名	都市公園整備事業
公園名	境川遊水地公園（今田遊水地）
事業箇所	藤沢市今田

位置図



平面図



H19. 8. 4 約 6. 3 ha開園

H20. 12. 22 ~ H22. 6. 18  
約 12. 5 ha開園

H29. 3. 1 今田管理センター開所  
約 0. 1 ha  
H31. 11 約 7. 3 ha開園予定

断面図



問合せ先  
都市公園課 課長 森尻 電話 045-210-6220





## 山・川・海の連続性をとらえた「川づくり・なぎさづくり」

## 基本的な考え方

治水・利水事業により県民生活の向上が図られた一方、ダムや堰等により海岸への土砂供給量が減少したことや、海岸の構造物や地形などの複合的な要因により、海岸侵食が引き起こされている。

そこで、広域的視野に立ち、山等から河川を通じて沿岸を移動する土砂の流れである流砂系の健全化に向けた総合的な土砂管理を進める。

平成31年度は、環境への影響をモニタリングしながら、河川では置き砂、河床掘削などを行う。

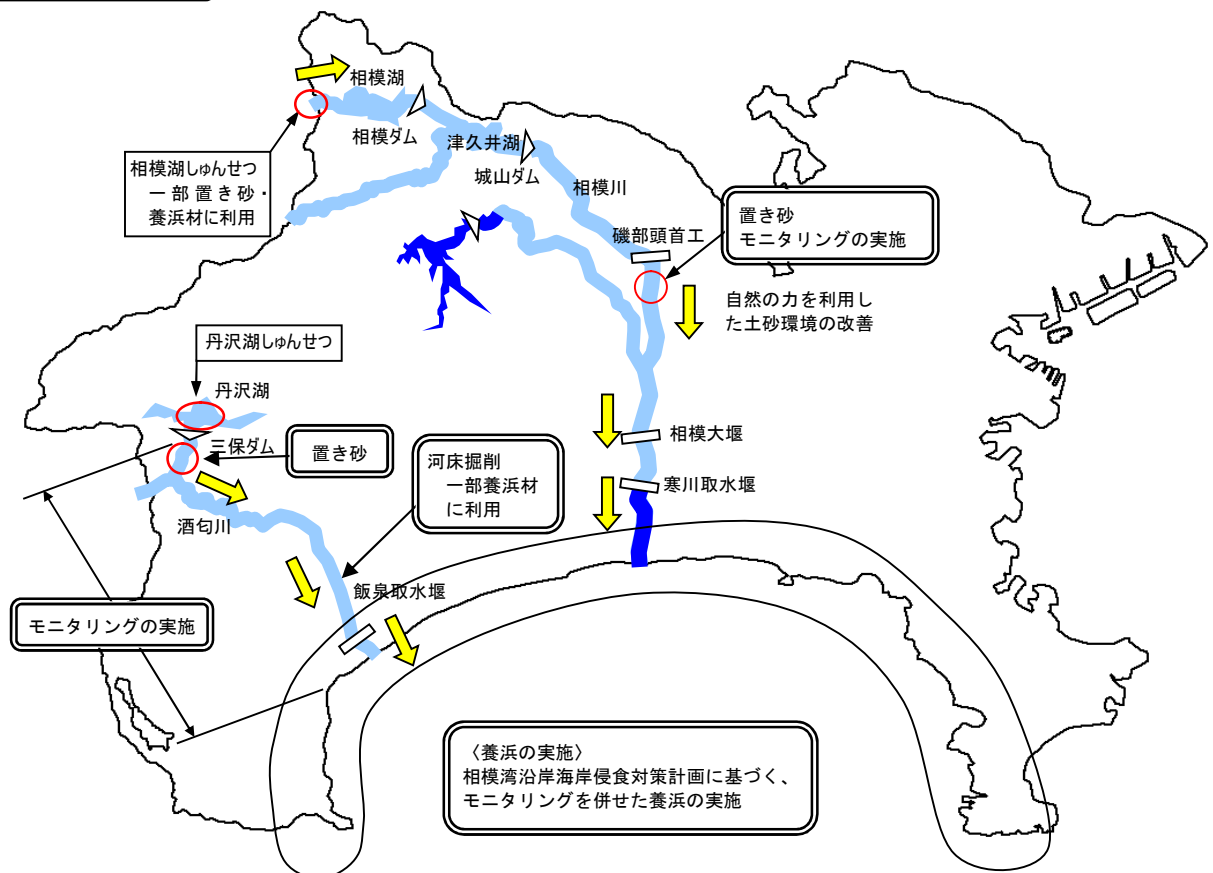
各海岸では、侵食状況等を勘案して実施規模を調整しながら、ダムや河川内の堆積土砂等を利用した養浜を行うなど、海岸侵食対策に取り組む。

## ○事業費内訳

(単位：千円)

事業名	H31予算額		備考
	事業費総額	うち対策分	
海岸高潮対策費	770,000	463,190	養浜を主体とした侵食対策
河川修繕費	川づくり推進費	117,008	河川の総合的な土砂管理
	河川修繕費	2,895,289	
合計	3,782,297	829,198	

## 事業内容概要図



## 問合せ先

河川課 課長 鶴木 電話 045-210-6470

砂防海岸課 課長 峯村 電話 045-210-6500

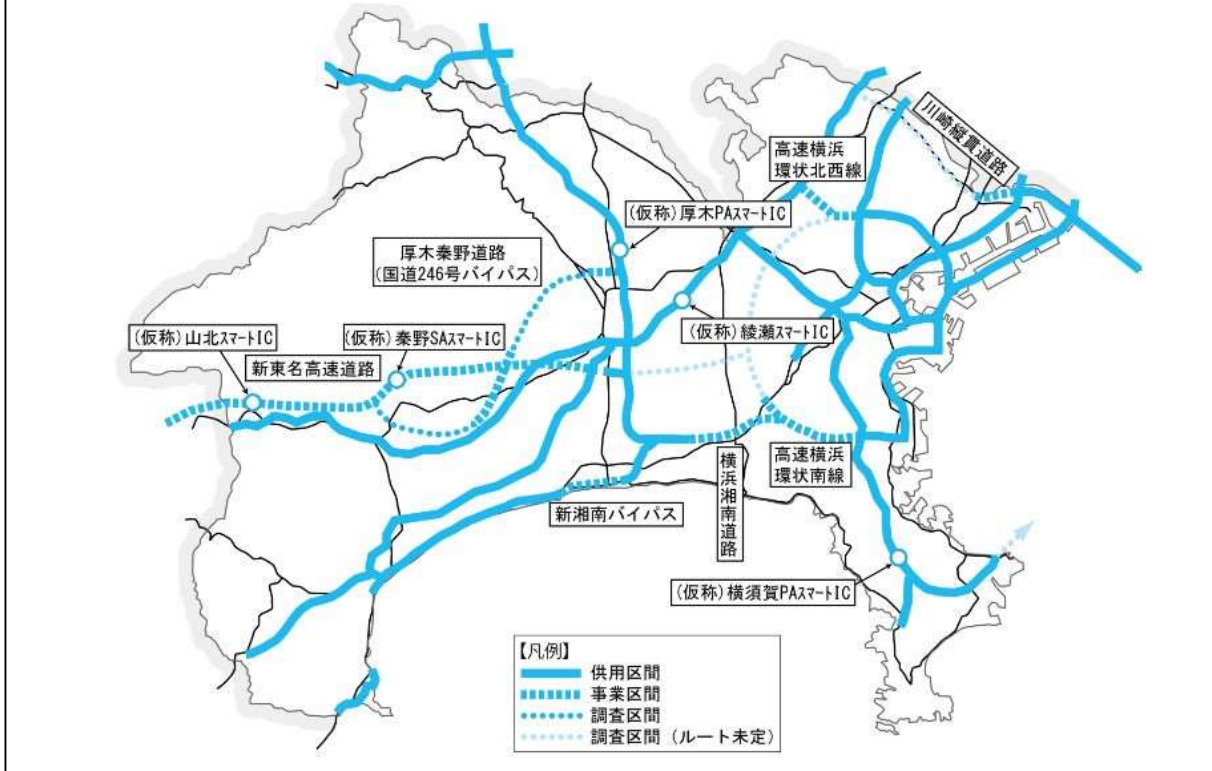
## 「かながわのみちづくり計画」に基づく幹線道路網の重点整備

主要施策	施策内容	主な整備路線
自動車専用道路網の整備	<p>県土構造の骨格となる自動車専用道路網の整備を促進する。</p> <p style="text-align: center;">平成31年度予算額 4,369,000千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新東名高速道路</li> <li>・高速横浜環状北西線</li> <li>・綾瀬スマートインターチェンジ関連 等</li> </ul>
インターチェンジ接続道路の整備	<p>新たに整備される自動車専用道路のインターチェンジへの円滑なアクセスを確保し、利便性を県内各地域へ広めるため、インターチェンジに接続する道路の整備を進める。</p> <p style="text-align: center;">平成31年度予算額 1,187,030千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(都)横浜藤沢線 等</li> </ul>
交流幹線道路網の整備等	<p>自動車専用道路網を補完して、地域間を連絡する広域的な道路から、県民の日常生活を支える道路に至るまで、多様な交流・連携を支える道路網の体系的な整備を進める。</p> <p style="text-align: center;">平成31年度予算額 8,808,558千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県道26号(横須賀三崎) 〔三浦縦貫道路Ⅱ期〕</li> <li>・県道611号(大山板戸) 〔大山バイパス〕</li> <li>・県道731号(矢倉沢仙石原) 〔南足柄市と箱根町を連絡する道路〕</li> <li>・(都)安浦下浦線</li> <li>・(都)曾屋鶴巻線</li> <li>・(都)丸子中山茅ヶ崎線</li> <li>・(都)穴部国府津線他</li> <li>・(都)城山多古線他 等</li> </ul>

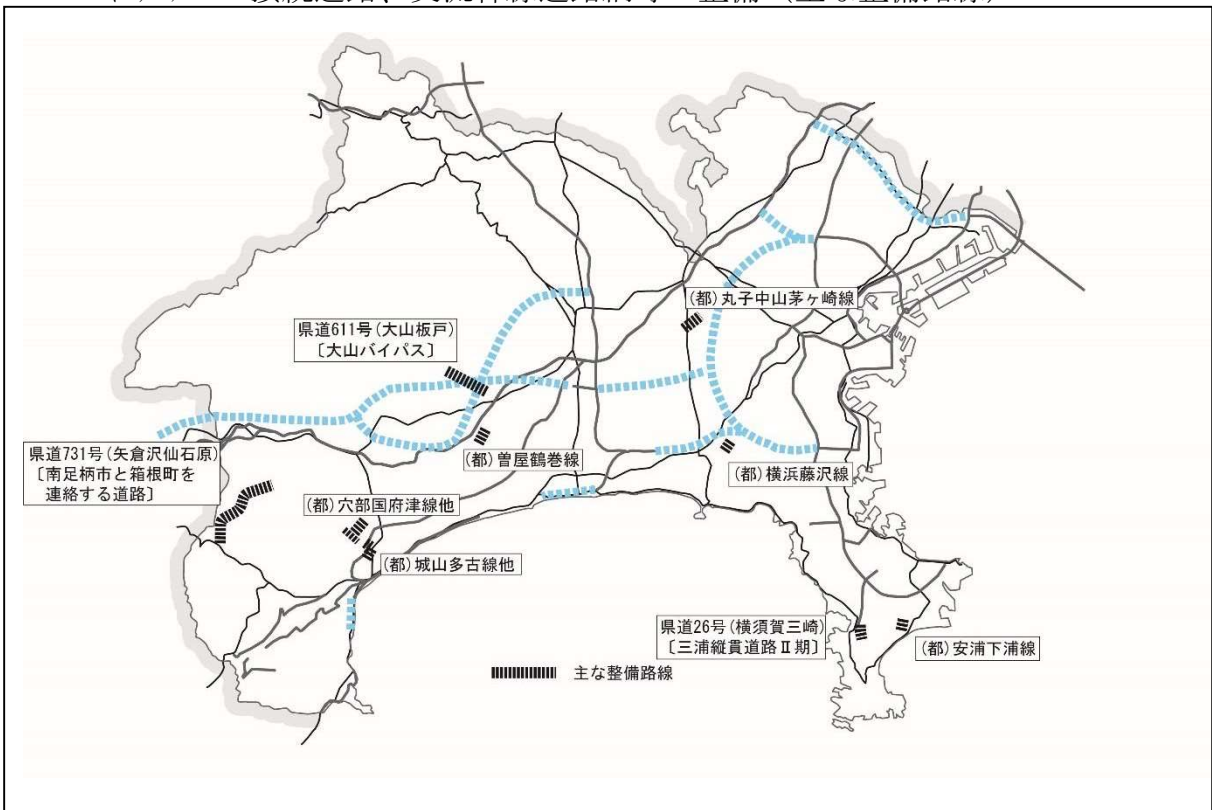
合 計

14,364,588千円

■ 自動車専用道路網の整備



■ インターチェンジ接続道路、交流幹線道路網等の整備（主な整備路線）



問合せ先

道路企画課 課長 笠間 電話045-210-6400  
 道路整備課 課長 佐藤 電話045-210-6420

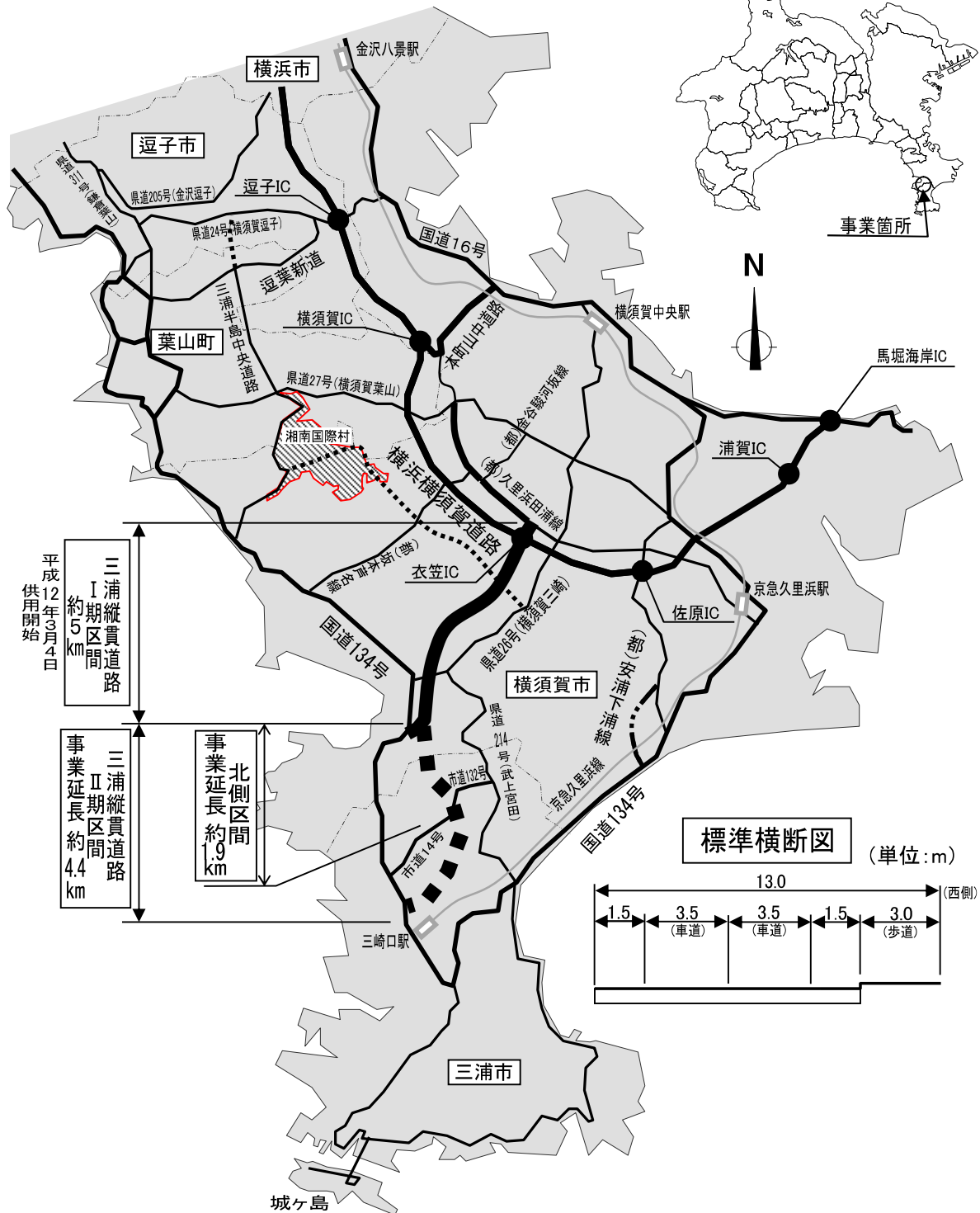
## 道 路 改 良 事 業

区 分	県道 26 号 (横須賀三崎) [三浦縦貫道路Ⅱ期]
事業概要	<p>三浦縦貫道路は、県道 26 号(横須賀三崎)のバイパスとして、横須賀市と三浦市を結ぶ幹線道路であり、横浜横須賀道路と国道 134 号とを連絡し、地域の幹線道路網を強化するものです。本路線の整備により、三浦半島地域の交通利便性の向上と、産業・経済・観光などの各分野における交流・連携機能を強化し、地域の活性化を図ります。</p> <p>I 期区間は、有料道路として平成 12 年 3 月に供用開始しており、Ⅱ期区間については、I 期区間に続く約 1.9 kmを北側区間として平成 16 年度に事業着手しています。</p> <p>平成 31 年度は、改良工及び委託等を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 横須賀市林四丁目～三浦市初声町高円坊  (2) 事業延長 約 1.9 km  (3) 幅 員 13.0m</p>
全体事業費	約 113 億円
平成 31 年度 事業内容	改良工 委託 用地・補償
事業期間	平成 16 年度 ～ 平成 31 年度

事業名	道路改良事業
路線名	県道26号(横須賀三崎)〔三浦縦貫道路Ⅱ期〕
事業箇所	横須賀市林四丁目～三浦市初声町高円坊

平面図

位置図



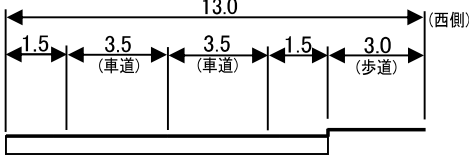
平成12年3月4日  
供用開始

三浦縦貫道路  
Ⅰ期区間  
約5km

三浦縦貫道路  
Ⅱ期区間  
事業延長約4.4km

事業延長約9km  
北側区間

標準横断面図 (単位:m)



問合せ先  
道路整備課 課長 佐藤 電話 045-210-6420

## 道 路 改 良 事 業

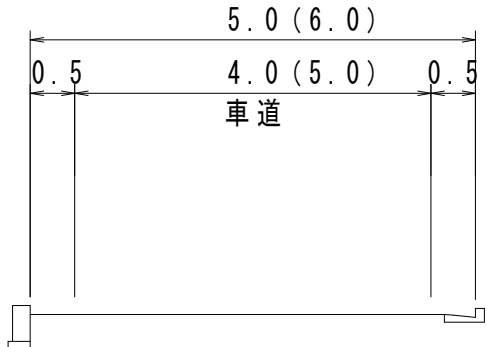
区 分	県道 731 号（矢倉沢仙石原）〔南足柄市と箱根町を連絡する道路〕
事業概要	<p>県道 731 号（矢倉沢仙石原）〔南足柄市と箱根町を連絡する道路〕は、道路ネットワークの充実により、災害時の代替ルートとなるだけでなく、両地域の広域連携が促進され、観光振興を始めとする地域活性化にも役立ち、箱根地域の渋滞緩和を図る重要な道路です。</p> <p>本路線は、国立公園など、自然環境豊かな地域を通過するため、極力地形の改変をせず、既存の林道を活用して、整備を図るものです。</p> <p>平成 31 年度は、改良工及び委託等を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 南足柄市矢倉沢～箱根町仙石原  (2) 事業延長 約 10.9 km</p>
全体事業費	約 52 億円
平成 31 年度 事業内容	改良工 委託 補償
事業期間	平成 25 年度 ～ 平成 31 年度

事業名	道路改良事業
路線名	県道 731 号 (矢倉沢仙石原) [南足柄市と箱根町を連絡する道路]
事業箇所	南足柄市矢倉沢～箱根町仙石原

位置図

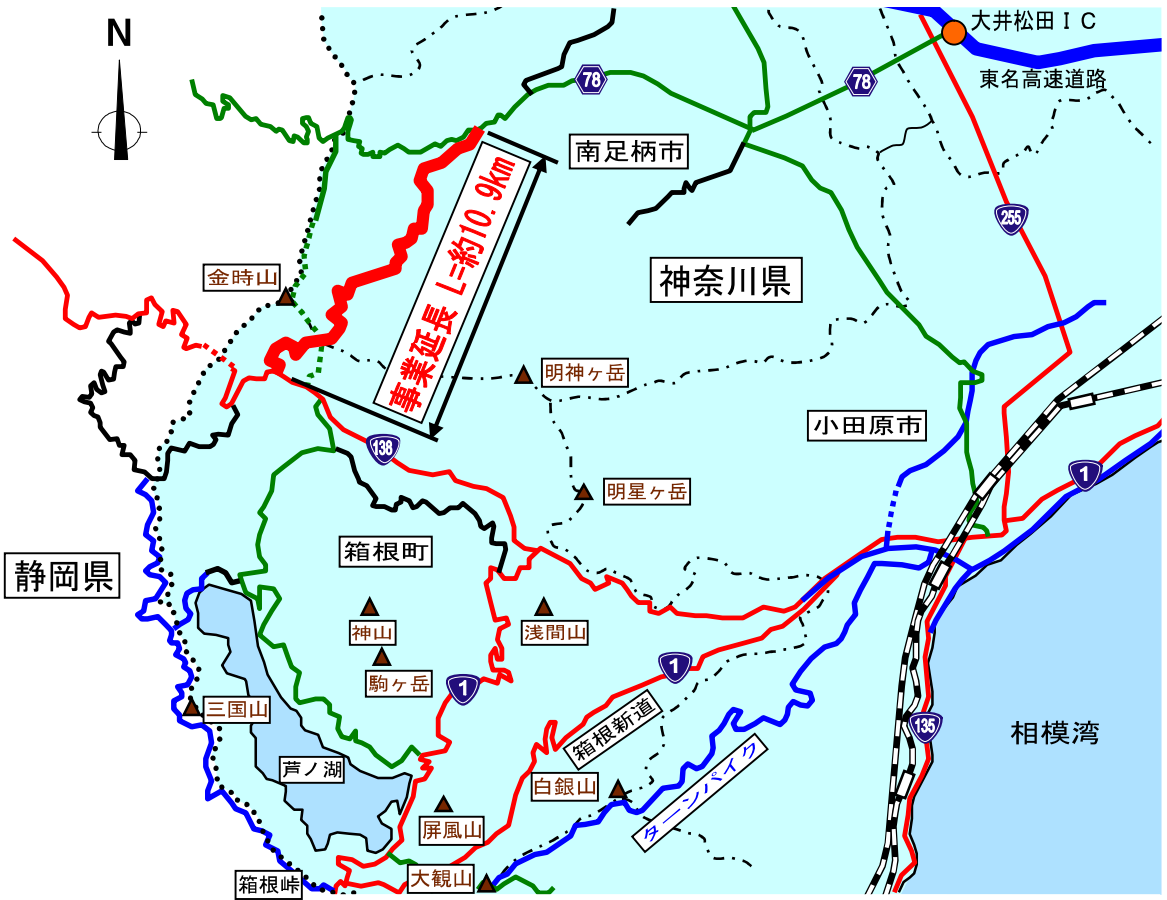


標準横断面図 (単位: m)



注) カッコ内は待避所を設ける区間

平面図



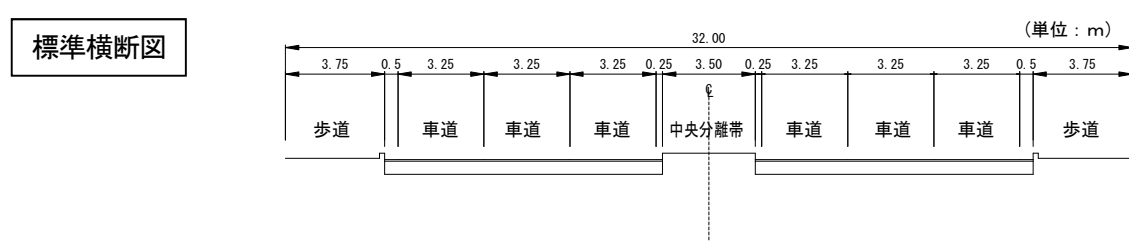
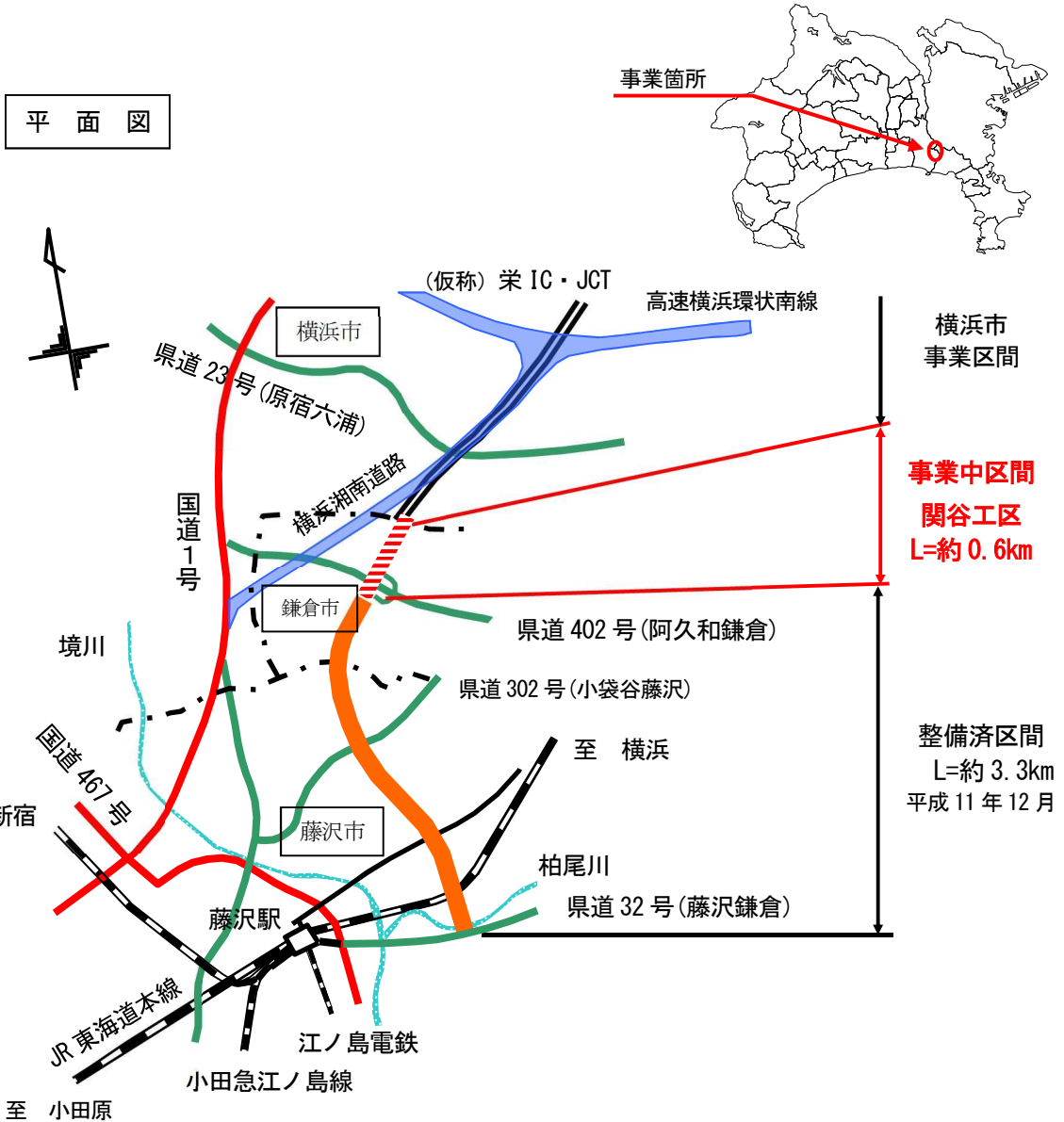
問合せ先  
道路整備課 課長 佐藤 電話 045-210-6420

## 街 路 整 備 事 業

区 分	都市計画道路 横浜藤沢線
事業概要	<p>都市計画道路横浜藤沢線は、横浜市域と湘南地域を結ぶ広域的な幹線道路です。</p> <p>現在事業中の横浜湘南道路及び高速横浜環状南線の（仮称）栄インターチェンジ・ジャンクションへの接続道路として、横浜市境から県道 402 号（阿久和鎌倉）までの約 0.6km 区間で 6 車線化の整備を進めています。</p> <p>平成 31 年度は、改良工及び委託等を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 鎌倉市関谷  (2) 事業延長 約 0.6km  (3) 幅 員 32.0m</p>
全体事業費	約 20 億円
平成 31 年度 事業内容	改良工 委託 用地
事業期間	平成 20 年度 ～ 平成 32 年度



事業名	街路整備事業
路線名	都市計画道路 横浜藤沢線
事業箇所	鎌倉市関谷



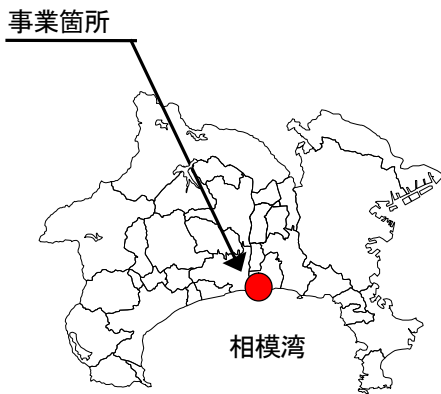
問合せ先  
 道路整備課 課長 佐藤 電話 045-210-6420

## 交通安全施設等整備事業

区 分	国道 134 号〔道の駅「(仮称)サザン茅ヶ崎」〕
事業概要	<p>「(仮称)サザン茅ヶ崎」は、新湘南バイパスの茅ヶ崎海岸インターチェンジの直近に位置する、国道 134 号の茅ヶ崎市柳島に、県と茅ヶ崎市が連携して整備する道の駅です。</p> <p>この道の駅には、24 時間無料で利用できる駐車場やトイレ、道路情報や観光情報の提供コーナーのほか、茅ヶ崎市とその周辺地域の特産品の販売スペースなどを設けます。</p> <p>平成 31 年度は、造成工事を実施します。</p> <p>(1) 事業箇所 茅ヶ崎市柳島 (2) 事業規模 約 1.7ha (全体)</p>
全体事業費	約 25 億円 (県事業分：約 7 億円、市事業分：約 18 億円)
平成 31 年度事業内容	造成工事
事業期間	平成 29 年度～平成 33 年度

事業名	交通安全施設等整備事業
路線名	国道134号〔道の駅「(仮称)サザン茅ヶ崎」〕
事業箇所	茅ヶ崎市柳島

位置図



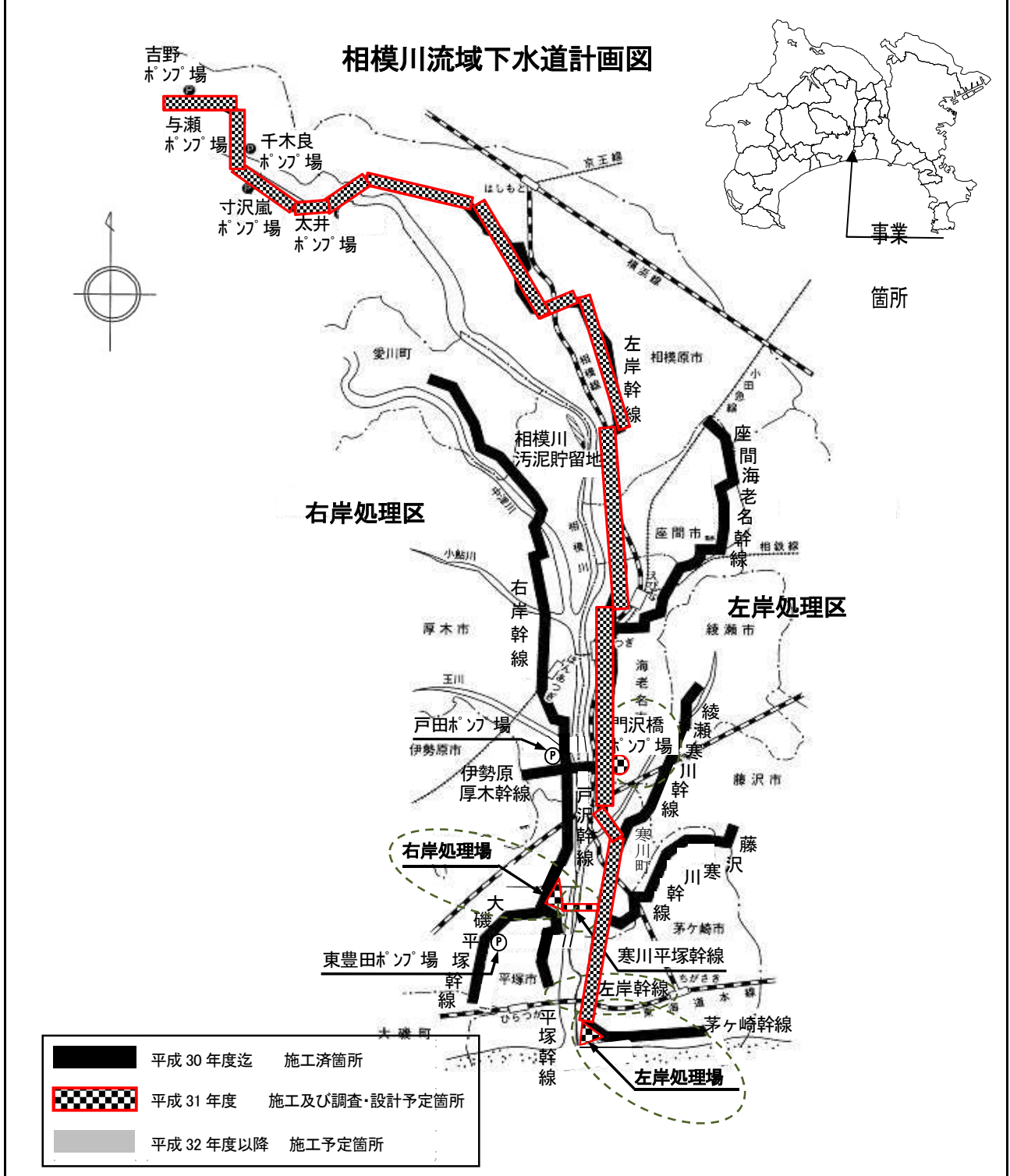
施設配置イメージ



問合せ先  
道路管理課 課長 西山 電話 045-210-6350

区 分	相模川流域下水道
事 業 概 要	<p>相模川流域下水道事業は、昭和 44 年から相模川流域内の 9 市 2 町の区域を対象に事業着手し、昭和 48 年 6 月に右岸処理場（平塚市四之宮）で、また、昭和 52 年 12 月には、左岸処理場（茅ヶ崎市柳島）で、一部の市町について処理開始いたしました。</p> <p>その後区域を拡大し、現在は流域内全 9 市 3 町で事業を実施しています。</p> <p>平成 31 年度は、左岸、右岸の処理場における汚泥処理施設の整備等を引き続き推進します。</p> <p>(1) 事業箇所 《左岸処理区》相模原市緑区小渋～茅ヶ崎市柳島 《右岸処理区》愛川町角田～平塚市四之宮</p> <p>(2) 計画概要 処理面積 30,597 ha 処理人口 1,841 千人 処理水量 933 千<math>m^3</math>/日</p>
全体事業費	約 4,900 億円
平成 31 年度 事業内容	汚泥処理施設整備工事、調査・設計等
事業期間	昭和 44 年度 ～ 平成 42 年度

事業名	流域下水道事業
流域下水道名	相模川流域下水道
事業箇所	左岸処理区 相模原市緑区小淵～茅ヶ崎市柳島 右岸処理区 愛川町角田～平塚市四之宮

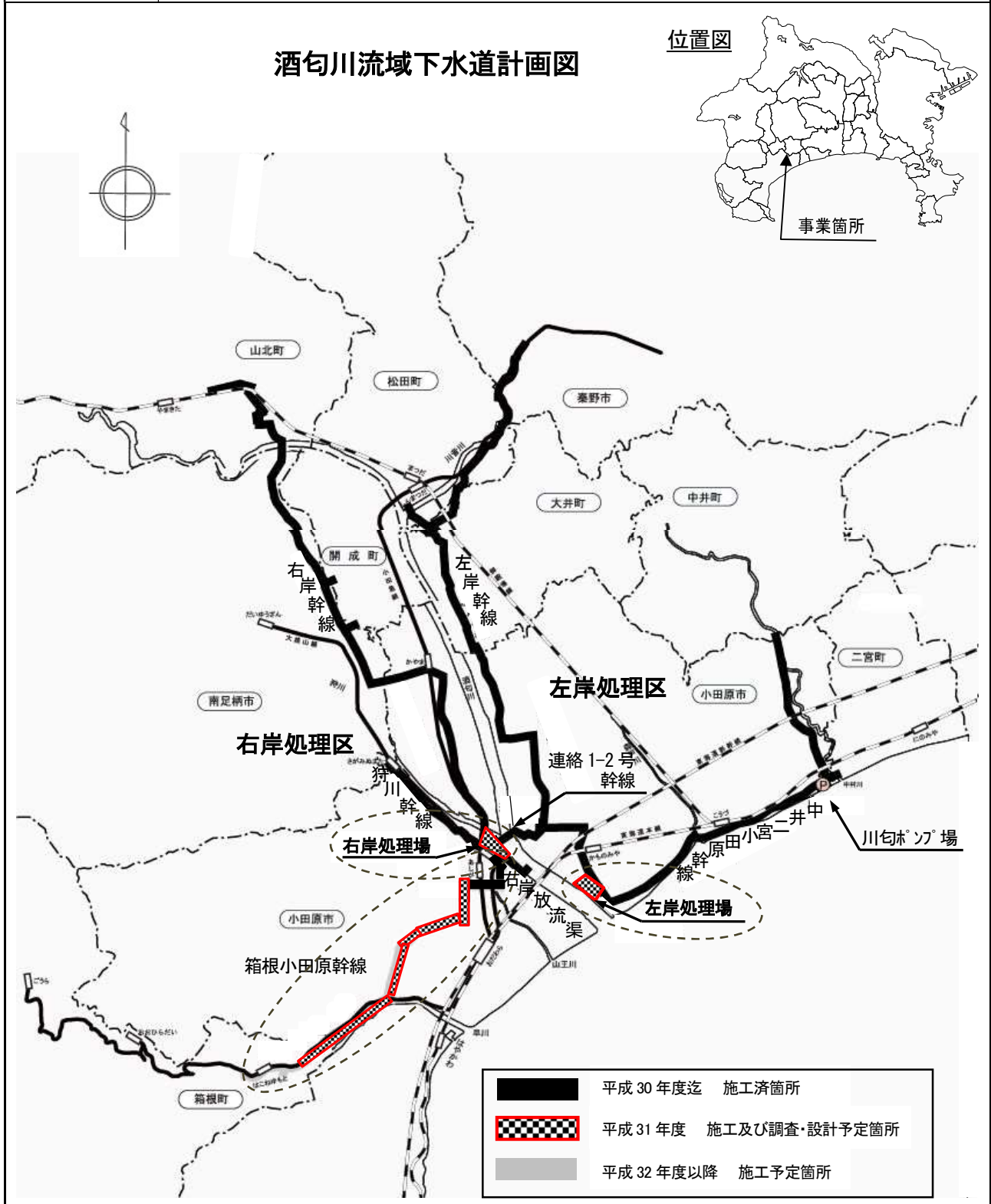


問合せ先  
下水道課 課長 近藤 電話 045-210-6440

## 流域下水道事業

区 分	酒匂川流域下水道
事業概要	<p>酒匂川流域下水道事業は、昭和 48 年から酒匂川流域内の 3 市 4 町の区域を対象に事業着手し、昭和 57 年 12 月に左岸処理場（小田原市西酒匂）で、小田原市の一部を処理開始いたしました。</p> <p>その後区域を拡大し、平成 9 年 7 月から右岸処理場（小田原市扇町）で処理を開始し、現在は流域内全 3 市 7 町で事業を実施しています。</p> <p>平成 31 年度は、箱根小田原幹線と左岸、右岸の処理場における汚水処理施設の整備等を引き続き推進します。</p> <p>(1) 事業箇所 《左岸処理区》 秦野市菖蒲～小田原市西酒匂 《右岸処理区》 山北町山北～小田原市扇町 箱根町湯本～小田原市扇町</p> <p>(2) 計画概要 処理面積 6,689 ha 処理人口 278 千人 処理水量 229 千m<sup>3</sup>/日</p>
全体事業費	約 1,500 億円
平成 31 年度 事業内容	幹線整備工事、汚水処理施設整備工事、調査・設計等
事業期間	昭和 48 年度 ～ 平成 42 年度

事業名	流域下水道事業
流域下水道名	酒匂川流域下水道
事業箇所	左岸処理区 秦野市菖蒲～小田原市西酒匂 右岸処理区 山北町山北～小田原市扇町、箱根町湯本～小田原市扇町



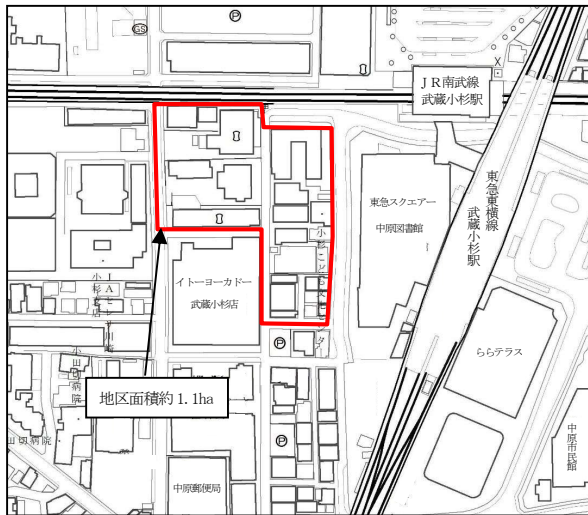
問合せ先  
 下水道課 課長 近藤 電話 045-210-6440

区 分	小杉町3丁目東地区
事業概要	<p>小杉町3丁目東地区は、JR南武線及び東急東横線の武蔵小杉駅と隣接し、古くから地域の商業エリアとなっていますが、老朽化した小規模な店舗、住宅等が密集し、道路の整備も不十分なことから、土地利用及び防災上の課題があります。</p> <p>このため、細分化した敷地を集約し、不燃化した再開発ビル、道路等の整備を行うことにより、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ります。</p> <p>平成31年度は、引き続き共同施設整備を進めます。</p> <p>(1) 施行地区 川崎市中原区小杉町三丁目  (2) 地区面積 約1.1ha  (3) 施 行 者 市街地再開発組合  (4) 施設計画 鉄筋コンクリート造及び鉄骨造  地上38階/地下2階</p>
全体事業費	約427億円
平成31年度事業内容	共同施設整備
事業期間	平成25年度～平成32年度



事業名	市街地再開発事業
地区名	小杉町3丁目東地区
事業箇所	川崎市中原区小杉町三丁目

平面図



位置図



完成イメージ図



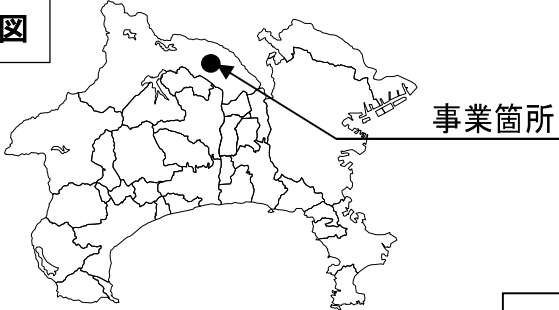
問合せ先  
都市整備課 課長 竹内 電話 045-210-6200

## 公 営 住 宅 整 備 事 業

区 分	県営横山団地（5期）
事業概要	<p>公営住宅整備事業は、住宅に困窮する低額所得者、高齢者、身体障害者等に対し、低廉な家賃で良質な県営住宅を整備（改善）することにより住環境水準の向上を図るとともに、県民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するものです。</p> <p>横山団地は昭和 39 年度から 43 年度にかけて建設された団地で、平成 15 年度から建替事業を行っています。</p> <p>(1) 事業箇所 相模原市中央区横山四丁目  (2) 構造階数 鉄筋コンクリート造 8 階建て  (3) 計画戸数 96 戸（2 棟 各 48 戸）</p>
全体事業費	約 22 億円
平成 31 年度 事業内容	建設工事（建築、給排水、電気、昇降機） 工事監理業務
事業期間	平成 31 年度～平成 33 年度

事業名	公営住宅整備事業
団地名	県営横山団地
事業箇所	相模原市中央区横山四丁目

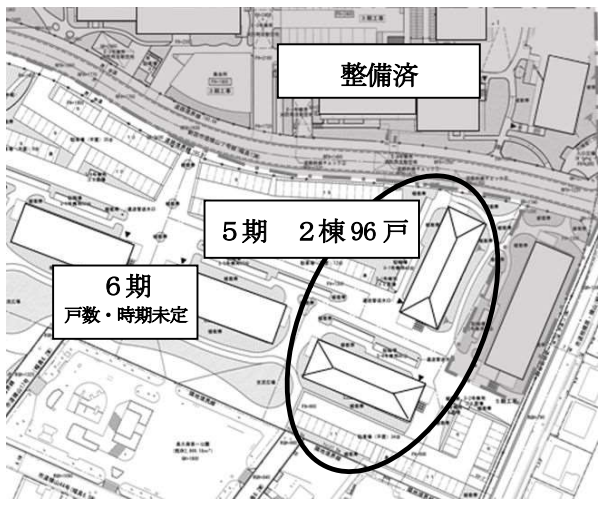
位置図



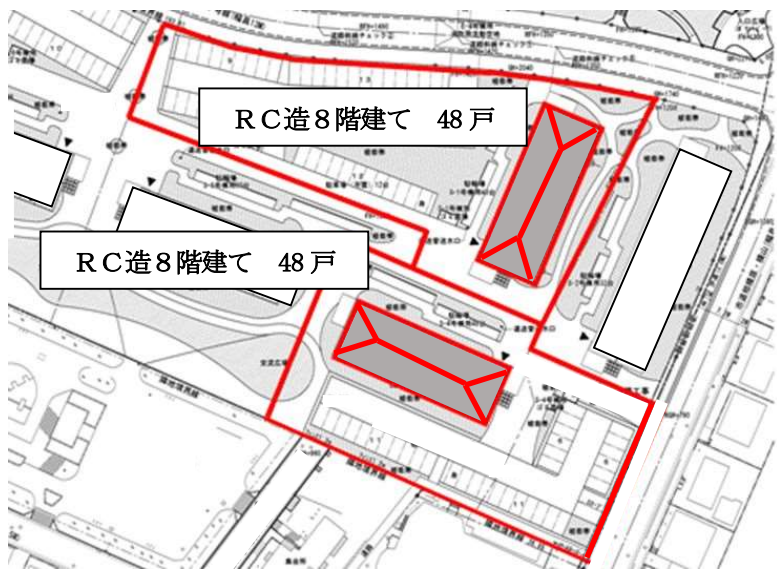
横山団地 案内図



横山団地 土地利用計画図



横山団地（5期） 建替え後配置計画図



問合せ先  
 公共住宅課 課長 天野 電話 045-210-6533



## 東京 2020 オリンピック競技大会・セーリング競技開催に向けた取組み

### 1 目的

東京 2020 オリンピック競技大会・セーリング競技の開催に相応しい会場を準備するため、湘南港の係留施設やトイレの洋式化等の改修、高木植栽等を行う。

### 2 予算額 629,344 千円

### 3 内容

- (1) 港湾改修費・港湾修築費  
湘南港のトイレの洋式化等の改修を行う。
- (2) 港湾補修費  
湘南港の係留施設等の改修、高木植栽等を行う。
- (3) セーリングセンター（仮称）設備整備費  
「セーリングセンター（仮称）」の開設に必要な備品の購入等を行う。

### 4 対象箇所



問合せ先

港湾事業調整担当課長 千葉 電話 045-285-0815

【基本的な考え方】

- 大都市圏に位置している本県には特別な財政需要があることから、本県では法人二税の超過課税を活用し、その時々々の行政課題に迅速かつ的確に対応してきた。  
今後においても、東日本大震災の発生を契機とした新たな「地震防災戦略」を踏まえた対応や、箱根山の火山対策、近年増加しているゲリラ豪雨といった自然災害への対策など、県民の皆様への「いのち」や法人の皆様様の活動を守る取組みを一層強化し、災害に強い県土づくりを推進しなければならない。
- また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催の機会を捉え、県内経済のさらなる活性化につなげるため、幹線道路の整備に取り組んでいく必要がある。
- そこで、平成27年11月に5年間延長した超過課税措置を活用し、今後「災害に強い県土づくりの推進」と「東京オリンピック・パラリンピックに向けた幹線道路の整備」に着実に取り組んでいく。

活用項目		平成31年度当初予算額	
		事業費総額	一般財源
I 災害に強い県土づくりの推進	(1) 地震・津波対策の一層の強化 ・ 新たな津波浸水予測や地震被害想定調査に基づき策定する地震防災戦略に沿った減災対策 ・ 県民・企業等への情報伝達機能の強化 ・ 市町村が行う地震防災対策への支援	46億1,482万円 [21億7,090万円]	23億183万円 [11億4,927万円]
	(2) 火山・豪雨・台風などの自然災害対策 ・ 箱根山の監視体制の強化、富士山噴火を想定した対策 ・ ゲリラ豪雨や台風等に備えた河川等の整備 ・ 治山・法面や林道の整備	196億6,721万円 [165億8,005万円]	44億1,668万円 [36億1,444万円]
	(3) 災害に備えた社会基盤施設の整備 ・ トンネル、橋などの安全性向上	132億5,796万円 [131億9,602万円]	86億9,229万円 [86億8,832万円]
	(4) 災害時に重要な役割を果たす県有施設や、県立学校等の耐震改修 ・ 災害時の避難所や帰宅困難者の一時滞在施設に指定されている県有施設、警察署や県立高校などの耐震改修	94億5,776万円 [16億2,900万円]	43億7,211万円 [15億4,200万円]
	小計	469億9,776万円 [335億7,598万円]	197億8,291万円 [149億9,404万円]
II 東京オリンピック・パラリンピックに向けた幹線道路の整備		160億8,813万円 [148億4,458万円]	94億9,758万円 [86億9,484万円]
うち、政令市道路整備臨時補助金(財源は全額超過課税を活用)		4億8,000万円	4億8,000万円
合計		630億8,590万円 [484億2,057万円]	A 292億8,050万円 [236億8,889万円]

※[ ]内は県土整備局予算

B 超過課税活用額	234億2,961万円
超過課税活用率 (超過課税活用額/一般財源)	B / A 80.0%

<参考> 主な活用事業

○ 災害に強い県土づくりの推進

項目・事業名(県土整備局)	
(1) 地震・津波対策の一層の強化 沿道建築物耐震化支援事業費 電線地中化促進事業費	など
(2) 火山・豪雨・台風などの自然災害対策 河川改修事業費 急傾斜地崩壊対策事業費	など
(3) 災害に備えた社会基盤施設の整備 道路災害防除事業費 橋りょう補修費	など
(4) 県有施設の耐震改修 津久井合同庁舎新築工事費	など

○ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた幹線道路の整備

路線名	箇所(区間)等
新東名高速道路へのアクセス道路 〔国道246号〔秦野IC関連〕〕	秦野IC
横浜湘南道路	栄IC・JCT ~ 藤沢IC
綾瀬スマートインターチェンジ 関連	綾瀬市小園
高横横浜環状北西線	横浜青葉IC・JCT ~ 横浜港北JCT・港北出入口
三浦縦貫道路Ⅱ期	横須賀市林四丁目 ~ 三浦市初声町高円坊
南足柄市と箱根町を連絡する道路	南足柄市矢倉沢 ~ 箱根町仙石原

※IC: インターチェンジ、JCT:ジャンクション 名称の一部は仮称。

問合せ先  
県土整備経理課 課長 武川 電話 045-210-6070

## 平成31年度 主な完成・開所予定・着手箇所

### 1 完成・開所予定箇所

区分	箇所名	工事箇所	着手年度	概要
道路	県道215号 (上宮田金田三崎港)	三浦市南下浦町松輪	平成25年度	歩道整備 W=2.5m
道路	県道26号(横須賀三崎) 〔三浦縦貫道路Ⅱ期〕	横須賀市林四丁目～三浦市初声町高円坊	平成16年度	L=約1.9km
道路	県道731号 (矢倉沢仙石原) 〔南足柄市と箱根町を連絡する道路〕	南足柄市矢倉沢～箱根町仙石原	平成25年度	L=約10.9km
都市公園	境川遊水地公園 (今田遊水地)	藤沢市今田	平成27年度	約7.3ha(今田遊水地) (境川遊水地公園全体: 約26.2ha)
鉄道	神奈川東部方面線 (相鉄・JR直通線)	西谷駅～(仮称)羽沢駅	平成18年度	神奈川東部方面線のうち、相鉄・JR直通線の開業
公営住宅	阿久和団地(3期3工区)	横浜市瀬谷区阿久和南四丁目	平成30年度	(新築) RC造5階建て 1棟 60戸
公営住宅	亀井野団地(3期)	藤沢市亀井野	平成29年度	(建替) RC造7階建て 1棟 69戸
その他	津久井合同庁舎	相模原市緑区中野	平成30年度	(建替) RC造4階建て 本館

### 2 着手箇所

区分	箇所名	工事箇所	完成予定年度	概要
市街地整備	中山駅南口地区	横浜市緑区台村町他	平成36年度	施行面積 約2.8ha
市街地整備	追浜駅前第2街区	横須賀市追浜町三丁目	平成36年度	施行面積 約0.9ha
公営住宅	横山団地(5期)	相模原市中央区横山四丁目	平成33年度	(建替) RC造8階建て 2棟 96戸

問合せ先  
県土整備経理課 課長 武川 電話 045-210-6070